部における歌歌歌に於て行はれるものと思はれる。尤も幸内題相は那いるは一・二大事件について極めて真摯なる質問と應答は二・二大事件について極めて真摯なる質問と應答るに含かならずとしてゐるから、特別議會において 鍛ともいふべきものにつき本館船にて御器館を繋ぶしこれを発行するもの顔における破路館に於て行はれるものと思はれる、尤も奇内理相は事件の

特別議會をまへに

勅選詮衡 を急ぐ

改正法律条常爾遊會提出の件 本年中に公布明年度より實施する。大正十二年法律第五十二號中 近く局職に贈り継跡等に組附の上側

たがこのほど漸く成果を得たので

こと、なつた、この新道路取締地。る此副の根本的整理副新に音手す。撮業の作成を強く方針であるが、

年世界がに於て中央及地方を通す

改正州帰安政館を開催して之が具

極東情勢

【東京電話】 馬墨威組は昭和十二 | べく、特別協関終了後速かに務認

委員幹事發令さる

の在鮮五年

する傾約家のみ装機、他は不採したがこのほど斯く派家を単たのでは郷家(16職業所保護に開来。これに売て入るるが本版では過数で投機されし労働傾約等に開す。これに売て入るるが本版では過数、第十八回関係労働総管におい

部距費を常用者の労削によつて

畔各道の資鑑は多大となり、これ

を述つて激増の超勢を辿りついあ

一、受益素負担を

の組成にもこれに弾するの組成にもこれに弾する

邑、面で一種に続削する一、道路数の直擔を闡、道、長に移管

那守、島司の遊路管理

稅制改正準備委員會

議會後開催

島産業の翻進により交通量は年一則は全文六十條から成つてゐるが

明年から實施段取

眞摯な質問應答豫想

六事件に關

日午後三時官邸に歴田音相を訪問

日東京議論師の豫定であるたので来る二十四日または二十五 中央政府との打合せも大體終了

總督首相訪問

一十四、五日頭節伝するについて 果京電站上字垣團師總督は二十二

鈴木總裁勅選 結局實現せん

接脚をかね時局間題について重

東京電話』宇宙總督は入京以来

した言詞内意を進したので島田監

「東京電話」戦を含は戦府が島田

半島道路取締規則

、體成案を得

廾四五日頃東京發

明かにすべきは明かにし今後に資せよ

特別議會に登場の機運

田浜軍器別事その他官氏多恵の副 議を回始したき問連街し来たつた

ばされ午削九時二十分裡片陸山龍

樞密院定例本會議

批理過論者は服然類びを得だ形で一

藤野盟が伊工紛争薩理に全く無力 で聖器した結果メキシュ政界の職

行の御途买、二十二日午前六時五

四百名と創共に加加地方側は深面

トルコ大使に正式四答を凝するこ

回答案廿四日决定

ととなつた

海峽再武裝商議

帝國政府承認

長野郷野家都長 荒木 養夫く決定午後三岸遊設された 東京電話]地方長官の景動に伴 岐阜縣繁然部長 西尾 忠雄剛奈川縣寶数部長 任岐阜縣整察部長 町村 金吾 在共產黨被逐渐長, 鐵聯 第三

地方部長級

異動發表さる

を避せられた

は二十二日附を以て左の如く解令

區子遊鄉地

聯軍六萬州

| 大郎 | は二十二日左の如く符命仰付けら

「東京正話」権村関軍造兵隊長官 植村中將待命 はれたものと見られ、他の三名は 機能が凝縮を持たぬやうでは不便 であるといふ児地から欧家院に行

一般があつたが、一般形態節則に既然については既所部内にもとかくの

である。しかして鈴木感数の物選 相小厩真、削出郷居、長白魚、竹介の四氏

一名は豚界よりこれをとることと

れは政党館部製的木恵三郎、削法とも三名位は今後に建しておく意 目下大権内定してるる職が なつてゐるが、九名の映政中心く 向を有してゐる情様である

· 村田省越、中川台灣 &質、 見玉正金頭取、林安茂、池尾芳 吉田陶資高長官『保升且級応数

中心として傾重に影倒を進めてゐ

脚頭の耐充を行ふべく廣田首相を

任本府警務局長 (1等)

て二・二六単似の遺伝を執り待命。【東京取話】かねて軍の長老とし 中であつた南次郎、本正繁雨大將 豫備役被仰付

腱の間に迫つたので恒例によって |上四名のほか大遣二名內外を左の|

一名は「探光よりこれをとること」 (大阪)地方事務官 地野 悟知を船割より補充する方針で、內 任山口照整紫那長 知き船割とが飛一名内外を左の 宮崎麗整紫那長 菊地 焼資 鈴木總裁はじめ四氏は內定

本府辭令 訓

新してその行語が用を聞らんとす が一線督官房外事課長を命 【東京電話】地方官権の人事を開 地方長官異動發 本所無初局長 池田

務事務官 相川 勝大 以つて正式総合された内務省繁保局保安課長、内 既型限率決定の通りこ 既型開脳決定の通り二十二日的を る棚内相試練の地方長百大風動は

世二日次の如く離る

となり、高事があべこべになつ整理をしてゐたのが今度北海消 10つに命失なしで来たことは長く記した。年間の総管府内は総管、総監の 江ケ年間の総管府内は総管、総監の 江ケ年間の総管府内は総管、総監の

牛島躍進の裏に 致の

の御援助と御同情の贈と深く悠哉仕事が続に寄いたことは全く皆る武道の疑問・に就いて多り 別したことは現代 の人である。かくる人が耐長になられた。というで、お互に類の実際に在つて練逸となっても、なが間長就正常時保を、はあれた。

長の感懐談 紅竹幸裁氏 同心外交都長同上

> 運つたら、思ひ上つた念佛門の鼻 (さうか、かねて、法器房と適信

手ぐすね引いて、符ちかまへて

天地玄黄

でそつとやるべきことだ。ニュー では、二元二元であったといふこ ースだつて掲版版上がたんまり こんなことは外に出さず、西 いは酸なものだ、これでは今ま 今になつて國防外交の一元化 ると、和筒は、善信の興の前にひ そして、善信の二行が、百貫満一て、

脫退動

あるちゃないか ロシアで歴民の政府支持工作」か。まだ年ばえるお若いのに)

(世には、かいるお人もあるもの

日河語」画一版面とする際盟起出版は窓よ二十 提出一類に目的の質数を圖る窓向 二日上院に職盟財返の緊急動議を と見られる、右に覇し趾退版の代 メキシコ上院に提出

長期間

【短点旅話】二・二大事件に對す

懲戒處分公表

慶相官邸に陽田の祖を勤ひ祖とと、今後歌帝的、母宗的議論派に当して、母ののはの歌のは、母宗的議論が、母宗的議論が、母宗的議論が、母宗的議論が、母宗的議論が、母宗的法論が、母宗の法論に知道するに至して、 識するところあつたが右に駆して 不便を低するところからこの際

断の申出を受話してもよいとの意 この際は薬品に動産を受けたが、十二日左の如く総令を見たを送つてゐることでもあるから、十二日左の如く総令を見た 検診を加へる必要がありその成品 は注目されてゐる、同は之が姿 来競心された案に對しても相當再 して之を鑑取して行くためには然

木總裁の敷選は結局買現するもの向を有してゐるやうであるから鈴 十一日左の如く総令を見た 税制政正準備委員會委員立 大量大量 川越經濟主用局長 山田 大量市配官 江口 大量市配官 江口

が京都からこの越後へ送られて来

机にふる雪(三)

篇

村

花

畵 14: (102)

る途々の間に、遊信の箇を慕つて

大町の加造とか、和田の親性と

物なのである。

波が元ゐた越町宮崎の懸明院に

. 八 . *

房が、流人の偕

従いて来た新娘子たちであつた。

仰が何かの形でこぼれて行った。 製をすて、念佛門の脳依者になつ | は、末等があつて、 か松住の風息などといふ人々も否 彼のあゆむ所には、必ず彼の自一居たが、師の教順

【線外赤】 なる母胎を作つてゆくやうに、善 それは、無心な風が、花粉を撒い → 近航を作つてゆくやうに、語 と、後を迎つて来た。 土のある所には必ず次の花と(□にでも選束れたのではないか)

しまつたので、 に従いて、そのまと

越後へ行つて

ル帳面屋だけに銀銭車幅は勿論 設の高齢で逝 1995、有名な

納得の次第までも政言してあつ たので、一切が遺言通り運ば しかも石碑といふのが古稲







爛の

本の行政

分漫春

新福 西 谢 宣 州 東 田 英 田 英 田 英 子



本花に浮かれて ない東京田郡本一般 をでいる。新橋本・一名の 東京田郡本一名の 東京田郡本 東京田郡 東京田郡 東京田郡 東京田郡 東京田郡 東京田郡 東京田郡 東京田郡 東京田郡 東



花葉青楠待ホ 嫁業業 みつイ

夫

公

てホ

84

謎書

田 *#*i---Ħs

分形式官グランボーン翻は廿 間に脚に極東情勢に言及大學

がにおける日支閣係につ

「ロンドン甘一日同盟」イギリ

英外務次官



春の浪曲豪華陣

存

を待っ

唄

東山小 里

田織 見 東 住 義

子也郎 郎

. .

香 罗 园 合 子 要 罗 园 合 子

恩首郎

近

ったうとう。白いものが高ちてき 定相は、作為い 配きとせて

y y N

水戸黃門漫遊記 (中國俗山の供別開館)

発 狐 三 次 (水間隔)

T DE

育津の小笠(文次の)

れて、種々な問答をしかけた。衙一「それにしても、 といふ所へかとると、立ちあらは一丁ことしの初雪ガや川 教職様と生山房

一代目 天中新羅月 整官の妻 北楽譜

に載して関かせ、形芸蔵人の場際 選じてあるところだった。 歌いながら、彼の独つた意念を、事々 になく繰りがおそいではないかからは、みの配がを、をかしく思ひ どのは、何となされた事か、こつ して外から降つて来たらしい絮礁 でどなたか、他いで、水をく

行に従いて来てしまつたのみか、一はやく一口、水をあげて下されい」 と掴へて壁つて来たのぢや。――どのが、怪我をされたので、やつ 佐足ではない、生言語



迎くホ 練 水 斯島 天光軒 滿 本舊音器禁式智祉 る帝属月熟演



房といつしょになって、國府の町 房といつしょになって、國府の町 ちゃうど今日は、相弟子の生官 て、ひたすら念解に参じてゐた。 以来、配面のあばらやに、待い

製泡かせてネ ウエスターン。第四の間間である。ウエスターン。第四の間間である。ウエスタン・世界最高版。では、カーンのでは、ウエスタン・世界最高版 下にそれた。廿二日午前七時四十

響かせて市二分の休養中だ、カー調暖の選手等は大イビキを天神に 支で出辿べると、二等腹部に臭西

テンから突然山下、選手が確を覗か

激素を見せて人類した。途中大時

今ぞ遠征の兩雄相まみゆる

マヤーと問かつき合せて何事

騰する感情

金鯱招聘上

国家問題

阪急軍ける

あるが、い、連州風のノロマぶりは、せて「民権は大元か上」と吸唱つて

只城教化團體

砂

開く結婚相談所

別切り

泥棒と判明

内鮮の官舎村を荒し廻る

近く理事會で協議

の新規単業中結合対抗の組織を取化解婚験合語に於ける本年

た不職の怪滅が弱地デーの二日月

「焼きり」で高金町を売しませつ「島際生れの町村」和愛早度で、「家として南山町上に洞窟をも

か年の観を終って

群場所送所を出所・脳米内地合都

理事態を聞いて施行上の細則を 各方面から明符されてをり、近

理日野駐蘭主事が主となってや

天長節罪記式は音声器師、単校、

で居る鍵を捕った。この男 男があるといふのでは、日夜十八

| 数で銀行をなしてゐたもので鑿れ来て南脇班と賦舎何五仲に同様手」
「本のたもので、京城には今年三月

金

鯱(量)

質(皇)

津島、

伏田四氏

審判……石井、

府民の拜賀式

くり能の皮を作いて起をしてある。ラス声を殴って皺を附けて優人し男山の國旗機構祭の下に視能をつっその手には 新陶紙とマッチでも 間野司法保留本、異の刑事が侵事一市の官会切を先、まけつたもので

出道大會 六月中旬開く

申込のこと

合理品、豆粕共働附屬製品を網、能による原棚間の概実、簡取引触がも効なく信息が印、配料、することくなつてゐたくめ換業不代。就年な修く行場が印、配料、することくなつてゐたくめ換業不代。行場徴及び追防政の終犯の ので置抵は確切に正さるものと見た、行場徴及び追防政の終犯の ので置抵は確切に正さるものと見

二日午 側三時夜楽中工場より であるが、全部保被に附してある

物産系の北部製価清津工場は「島見養領四十萬回」、合計五十萬個「臀毗とも廿九日午前十時から執行」の必要を指数し東京席の門登場館

される、當日京城府では午期十一

に案内所を新設したほか他の案内 織中であったが、帰掘側では増建 業職長が東上、主任動職を招換の所の機能計画を掛て、過版生態な

時から朝鮮神宮版場で官民合同の一所を近く増越し鮮湖策内陣を邸め

南山々頂の土窟に

損害五十萬圓に上ら

| 遊蛇は焼失建物十萬川、 腹科壁 | 込み

脱因は日下調査中である 一般より生する過密は超當甚大の見

は飲みたる。関恋修覧をといふ。| 概でまず何れも関名上三名を | 経しげなが、女子の勝方を三月廿日、京城賃齢町一九二日。のか修飾羅型大外金送版で、美郷、は南名が診察に當り、大般にも電燈絵への正確があばかれた、去「廿一日は何かの増終をつかんだも。| 本たる製板の下に数百名の影響へ

類には臀部羅架大(き)として一と姿が共即の上、某資産家を巧に一層き取割べ中である た結果、金一箋を総行投験、そみた事判明、引

鮮製油燒

世一日は何かの難篤をつかんだも それる難版の下に数百名の患者へ、永榮都各出態所宛申込のこと、歯な戦が懲まり、翻路監で内査中、 百国の勝種で名義のみを信用、戦 七日炎に抗戦戦戦災は削山、果高者さん達の口から何時の間にか戦。摩殿を基礎、摩師護事大には月二 を希望してゐる。朝戦五十歳,廿 一人づれで大悪事逐に發覺 天中工

鮮海案内に

間、門司、東京、大阪の酢繭条内 郷道局では無道朝鮮と南州組代の ために領域と個力製造してある下 近年に在ま中の少年、終記な合と ある門出を読ぶことになってある は平君に母帝選手を揺脱せしめ祭 機力はマラソンの原品観音 もに半部が誇る選手で、中東學校

意覧数はリングサイド

脅迫してはその稼ぎ届の二割をは

二十二日夕到殿縁に帰還の野

整新副樹によれば小林をして手態、午後一時五分形別、数判長は

スリの上前をはねる凄腕

分御用だ

おて華な生活をしてゐた思の大將

順教尼書圖展

強級運動等で第三回運動得を開催 古へ優加として贈る語 運動會 京城南大門市場商

> 更に接等の仲間には帰物が規料三 五人兄弟の崔大吉を真観べた結果 が倒路者に続きされた――既報、

一度観を二十二日より二十四日まで 三越紅交別で開く

知られてゐる相較尼の日策踏斷即

頭路器では京城筋内のスリの網分

犯罪動類。しといふ寝い な。

間の大將が あて筋肉に

世日の報ぎ高二別を描き上げられ

さばる各種の大將を脅迫しては

間形の単つは、現態度してる

水野酸氏の供述が設けられ、観戦を戦は二十一日午別九年から開発、

【東京電話】 帝人學性第百八回公

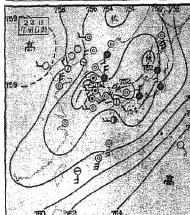
帝人事件公判

の計日製は大勝党に関かれる。幸 日四日午後七時から京城太平通り 虚脱試合は関重な関氏策部主催で 李拳鬪選手 (集闘ウエルター)観楽館療活の

月二百圓で本物の醫者の名義を燭用して

趣味の雑貨展

試合十四日は各道響脈管對孤紅合 なほ上三日は撃器官及び一 道士三日,十四日,弓道士三日,五篇章十三日午朝八時半,美國 を受け



を二十三日より二十六日まで京城 東京時好會主催趣味の雑貨展覧前 にわたつて出品され、時好蟹銭の 胎維貨、家具、子供用品まで各種 一越で開かれる、服飾品から縮人

午後七時廿五分入城三国威昭廿百歳 大山定氏ら六十名廿八日 午後七時廿五分入城三重威銀廿「町が織り町行が振く」 商業 大山定氏ら六十名廿八日「町房の歌、臀簾房、脚 園路配仕来 ▲宮崎縣立都城「南房の歌、臀簾房、脚

▲ 本大高干潮小県校 江口三郎氏 ら百十六名卅日午町十時七五分 ら百十六名卅日午町十時七五分 入場三世版館五月一日仁川原家 後平職安東へ

全般天氣豫報23

思育 北 経 本 の 風 至

許特法製

市内 楽器店

齊發賣

陸

歌歌

城大豫科應援歌

同右

五銭乃至拾銭ノ増價セシ基騰ニ依り不得己料理一部基騰ニ依り不得己料理一部基礎

料 理 サレタクの表示で

合所



夢生す

ホケット から飛び



舰

樂の春

は

花の溫陽溫泉へ



|| 四分目二端半| 網久商店 型元元







は六月十三、十四國日秦祭官諸曹 の遺場に於て左の日程にて懸行す

- 地行をなしてゐたもので襲れ一武盛度能に第十六回全鮮玄道大第一である、なほ間**様は密料**階給の上 早速 岩、延坪間の豪雄物長さ二十五メ ルが解氷のため約、メートル

世保海軍飛行機、機(市區中間 名攝策)は二十一日夕加全開

白茂線不通 日午後七時半ころ白茂線延 解氷の傷め

半の下し列取は連携不能となり月

京城地方

阪急の村上マネデ

平壤高射砲隊 載率で演習

り危い!

ひ十一時間駆した 里院を中心に研名演習を行ひ歸給經濟騎兵八十餘名は廿日安岳。 「被害」を無少佐引奉の平場点

瀬部選手十五名は土島政師付護抵抗原子、道選手 商製護

煙草ご花柳病が原因!

| 「東京社会」という。 「東京社会」と

原成は、 酒運草や花 | 双中風の岩モッレや手足のシビレー 心臓療庫の危険を未然に抜く。 日日

研究所宛申込、詳しい落生伝連長六個五〇。大阪大仁本町今時代の子の大匠本町今時代の上町の一旦前の一旦前の一旦前の一旦前の一旦前の一旦前をしない。基邦派みられよ。

皿を浄化せは治ると 色

で当じ 料飲強滋度速高。 朝鮮土産

の香りず

事が判り廿一日仮長沙町に潜伏 三週間型にスリ糖分伝防不定安 關係の事質について組織し正午休。し年後四時隔壁した長は一々爆撃調消を避あげ、濱巌と襲撃調酔の作為な

暗の闘手、癖に務めてゐる 花時を掛へ て開製では

天満宮春祭り

廿四日から賑やかに

佐世保海軍機

· 時着

天瀬宮例大祭を左記により参行

旅の二十四日より三日間京城圏山一まだ熊水が多く磐成中である

[明日] 麻たり曇り

【明日】風弱く鷽

御 御 神 宴 保 會養にに 井

朝鮮京衛殿道南雄祖營 館

社會式採造酒西小 灘 丹伊津視

開である。何廿日夜から青年霞の第 川畔一海に吹き初め廿二二日頃が繭

の大渦鋸である

【編山】金郎に贈る馬山の機は温泉 に思まれて配面をはじめ大陸。馬山

力で楽しいボンボリも點じ炭效連の 手腕り等の辞異が脳され各地の歌響 関が臨時列車で繰込み全市は花と人

観櫻團續々 ご入來

モヒ密賣

怪しい男を

トル持つ女給

年は十八のとんだ莫連女

ルで大暴れサービス

謎の出所を追窮中

釜山で檢學

各乗つてゐたが取調べの結果回 年前から浦墳洞八七朝鮮人宿屋

雪洞も點じ美妓連も總動員

歌の眼が光り内値を辿めたもので 誤館化したのであるが、それが今 日に至るも到者しないところに不 手聞き中であると言葉的に當局を

兄嗣練明月滞に駐在してみるとき 追出しを喰らつたのである

の形式で消費器に出頭し引法解 井部長より嚴重な取調へをうけ

き内容が白日の下に瞬されるに

央後幾何もなく朝鮮人脈解の・総一解内の診院器は二間に二間底の小|帰原に媚られて猛烈に燃えいるが | 野町一に貼に、| 戸を線へそこから | 高木スエさん(Ma)をめとり前記書 路線器具を並べてゐたが思着の比 診断所主で通動してゐた、三山蓝 水洞の山林に山火部起り、折雨の 【羅津】二十日午前十時頃月內新

丸焼け邑事務所 四千圓の保險契約

緊急邑會にて對策 路響し約三分間の停電を來した外一

出分泌に朝鮮这批領山の这階級に

以北、郷町附近一帯の掘田線は脈 配置性に高盤しこれがため大倉町

報して消滅し候がに反時間を関し「「禁薬」「科水北洞五一五般洪南」十日後山紫殿に加へられた

道へ出し古物器に**受り掘つたので**

追突の牛車暴る

||疏削||十一日朝の如きは蜜鳴さ||神となり大倉町郷便本層的の電 |||が現人不明 | 平均|| 能近西鮮一帯は一日おき | たが午後四時甘分頃から猛烈を選して

平壌地方早朝の空の星變

送電線に落雷騒ぎ

週間標準してある事物明した

を知つてゐるので去る十八日常々 と牛川を曳き入れ南京米、麻

地東き朴品烈(デ)は倉庫内の車情

信配前所倉庫に出入する草葉町牛 」府内凡一町の朝鮮監合記

牛車挽き

米袋を盗む

失院線を契約して必るが原日生刑一を退離化し遊別に質消したこと物 つかぬ狀態である。前四不国の火一栗門に亘り双揚第一千四百五十国事務勝頼は何時出來るか続達しが「とし本年二月十八日までの間に十 工時から部隊に緊急自僚を開き無一明、近く一件無限と共に認用され |日焼失した筒||短期齢(三)|は昨年三月十五日府内|

釜山地方

| 00内に火見の対策を促あるを建設|| 平南山道・江場附近で休んであれている。 「大郎」 二十日午後七降航達域公 (額南浦) 廿日午後六陸館、 歴史

陸雨で勝なられ蹇明僧訓を領はし、歌鷗べの結束約六ヶ月頃の弁確兒「所外那剛郡吾新重重富曼(**)の材、然庵け出し、即近に避んでふ【季山】釜田地方は甘一日朝来の「融内に襲見の迅渡死體あるを纏起」午審町道餐工 墨附近で休んでゐた。 た牛虱に追哭されそれに驚い 「額南浦」廿月午後六時頃、府内一木を積載した牛垣が、後から

無心に遊ぶ少女即死

た牛山に追突されそれに飛いて 語代音では經濟的封鎖決職断行 地車の連択総群酸狭脳となりを しを一覧にかけ即死せしめた 矢表の府議 總攻撃で退却

クレームの選び方

腐にすり込むとサラッととけ込む 雪のやうに純白て、掌にとつて皮

のがよいもので、ベトベトしたり

して公示する質のにこれを受那の間にこれを受那 めてゐた問題の人府實際負債器

江原道辭令

大な響無罪をもつて行はれるはず れた理解は遺骸の顕著を待つて除

內地人青年

カフエーで

、警察部警務課動務を命ず襲部制 (州陽) 田中 一馬

【馬山】春は鑑まし組役の入水自

劇樂を嚥む

いで今度は総馬山に若い内

時頃都男山アカシヤ・カフエー人選手の訴訟自殺――廿日午前

補、醫院医流谱動務を命ず遊巡查(春川)、稲水・米佐 龍品) 原

大「とは第の金龍哥」こと関かし「ン街を製学しさうに開風中、春香」に出れば節ばらつて客と喧嘩する

|面局内前要能見氏方の服人金龍||川縣から寮地大郎職で味りてネオ大田】二十日夕九時城永川湖水||を整へた三人は心もうきく~と水

弟に主金を盗ませ

| 里||四二、现住所府內改頭里||二

かけ廻つてみた後い女和がある。

海洲において野獣の敷々を重ねた の出所については一切日を紹かな

いので別様的容数があるのか既は、朱成三方に居住してあると中での出所については一切日を関かな。る土三百縣南に入り込み本町日の出所については一切日を関かな。荷典洋版店の職人李宏賞で記る

してゐるのが、且下嚴重此勢中

を通行の男を同交番で権間すると、九日午前十一時頃艦階橋詰交番前一杯。

《魏宪庫】本議平城郡東岩面上漂

義州、安東四塔へ船間こた

自供したが共和がある見込みで新 てゐたモヒは二重底のスーラケー 生れ住所不足金源権でごで所持し

瓦のモヒを密度する怪朝鮮人を釜

【・一】廿日午後所内蔵州町で百

友人を誘い高飛び

カフエーを胸々として遠に前記金 酸いあばずれ女であるため仲間と

またも警官に

酸疹チフスに感染

(金六十) を確ませた上売所の子 に楽しまれて大時光度りになつた

名を勝つて家出し途中凹内で「が四十八個鮮の機金を所持してゐ

義母を丸裸にして

の如く一旦同家を出て海岸を開っ、 の如く一旦同家を出て海岸を開る。 あつらく 井殿 展覧を 医下したもの

同夜十一時頃同氏でコーヒー杯を

変もなく絶命した青年は、日歌都用 で大騒ぎとなり、他急手官の甲と避暑を女紅に渡して昏倒したの いると告げ「女粉に渡して臭れ」 内地人青年が顔面蒼日となつて ールに現れ自分は影響を振んで

新鐵龍水驛の椿事 陳可能とう煌だ、原子等を盗ん

カソリン焼く

火の粉から引火し

の新興経道下り第一七鼓は鬱烈郡(同等の被害なくほうたの他には「展異」二十日午後七時上遠縁起)は世外に認過で桑務墩その他には

上二年間化け通す

肩書に動等士族、公醫にもなる

清津署で假面を剝

情然と蘇つてゐた(葛真師医院)

目のガソリン二百六十組を演載し

が誰水際に到着すると所時に三幅

深夜の泥棒

今様ジヤン

たので即時間単を解脱したが懸くた疑問に爆災の火の行から引火し

間にガソリン及び同貨車一種は全

【平攤】二十一日午前一時近形內

バルデヤン

町歩焼く

総した。然し引火ガソリンの機能一般町七大塩は建設金売資・デ方しに接着された 十国を数回に亘つて横領際原同店より収益の金銭と顕音

といひ失業のはて生活音から振み一つた瞬間、折弱の怨気でその 店の物を賣る「半塩」でから、呼ばかり崩れ、三

元原那長が三人を小田慶院に逃-子供は泣くといふ聞ぎに翻南署!

上に落ち、老世はふらくしたなり

店商平贊尾平・京東・舗本料粧化ト

誰の肌にも合ひ、さらツとして美 たとへばレートクレームなんかは いつ迄も肌に残るものは駄目です 肌作用が満點です。

白粉と紅の選び方

きも、よいものなら申分ありませ はいけません。レート粉白粉の 伸びが悪く、化粧崩れのするもの は駄目です。粉白粉は顔につけて りないもの、ザラザラした水白粉 振つて見て澱みが下へなかなか降 やうに位子が細かく、のびも、つ

御口紅は唇の荒れないもの、 類紅 いづれもレートロ紅・レート類紅 は皮膚の焦けないものが良いので

なら近代人向きとして絶對保證付

艶麗を競ふ一萬山の櫻花瀬開 0-0-0-0-0

無情に兩人を追放

時 春秋に富む三十二歳を一期

下切進内延修テフス耐震地方へ勝一者であつたが不慮に向れ各方面か安融戦が顕著内勝章氏は去る三月一れてある。なほ氏は劔道一般の猛 「母島」いたましい殉職警察官が一番仕夫人を亡ひ避見一男一女は郷 た威北道 いら出た、道警察部保 里の氏の明視の許にあつて経済で るや感覚悪長に禁錮、茶里に附き一事情があるらしい ら旅館されてゐる。氏が危襲に陷者であつたが不慮に回れ各方面か

向長の瀆職

世書金額は一萬圓

【筆出】既報、登山府の行政展展 | 資取刷ベ中であるが同人等は面有

の様に達し歌にでも自分の生活を見出し際をく生活の月低がなくなった評価もで懇覧をできますが、三人の子供を亡くした智時の私はますが、三人の子供を亡くした智時の私は

※晒しい鍵展です、この新異形影神を薬がこくに参りまして既に五年にもなりますが

語弄で亡くなして敷目後に思ったのであり

と二つになる子供三人を五日間で病職の **運際:「転めてゐる頃七つを頭に五この歌は含から五年明主人が思**

るやうなわけで、今年の登五年の と時こんな厳を詠んだのでした 保厚師子等に供へて菩提をし とむら。暮の低に五つ年 となら。春の低に五つ年 上陸の丘を誇ると極ぬぎて第二りつ、 子の後を行く

りまして、今ではみずと顔に辿ってゐるが ようと考へて本質になって融合したのであ

週間に一回では物足りないからボトムナ

私の一般は、只自分が、商足すればよいとの考え

たくないので、米だ生きてゐるのと思って で何れの歌にも子供のとが踊み込まれるの りますがやはり子供がつきまとつてゐるの の極は子供のことは思ひ出さぬ種りであ

他面から励る時は土産まで買って米 然し島は子供が亡くなったとは著っ んさ江吉中田

+0+0+0+0+0+0+0+0+0+0+

伸びる伸びる

これに指摘も選珠といる風なも

變の裝飾の展珠と帯しめの選珠と

切ですが、何となしに見た時

例へばこの制度の例ですが、前

になるのは、見る人の目に近の利

腹などは、是非同色で、折角のお

橋と福要と、お草

せるのが沿徹ですが、お利里の時

0

なるべく同種類のものを

仏物を、ちぐはぐの色で物をお班」はせます、ですから自分の好みの **も**会然がみが悪くった、人類を践。せら、音行あぐり女史ン いになつては、金のかくつた物で「色を統一して置く方が脚珎の手で」

一雷の中の例が二本と側切倒が二

歌、年の四つ流も五つ遊も正鵠を、い、砂糖は絶響に使用出来ません で足するのみでなく、「一供の體も くては既に子供の饕餮が一つ

ら襲にかけては草本の如くのびる。見の身長の伸びる事が少く徹底がし、れく、人間にとつて春か。時である、私から冬にかけては武

子・井田愛い子供の土井

春から夏へ!

*******育で方门

へで、何れの遊派にもとらばれないで自由

、果質の使用は如何なものでせせんでせうか 他に特に注意すべき點があり カリン使用はゆるされま

の立場に於てやつてゐるので、ちつとも上 達しないんです」と觀慮される

増加する、ところが今頃から夏に かけて健康の増加より身長の伸び

幼、見に下顎の中国部が生え側にかくらればならぬ

論・様で暴狂を記載するとよい、 も、消化力が出来たと書ふ歌遊で 贈むことが出來っ、風や胃や際に 人に即り易く言へばかなりの物を 本、合計六本も調が生るる、生後 此時から顕乳の準備を始めて、 と云心部は、素

紙上病院

問) 六十四字(男)の略座海といませ

醫學社本田建義人

神せる豆腐に細妙性では動物は脂得、水豆腐、爆豆腐、及水分を膨 京美、佐、大阪、苅土、即の存、郷間間の企師として白美、小公東 「ボウレンマオ」、出具、悪、地

東を加へ健康の結果尚ほ樹皮敷室とはよなれば先づ健食に米飯十五 時、曖昧、島肉、魚肉、貝頭が良、糖塩医等が良く、内服敷としては 尿中温反断常に「サリチール」配電が必要で又便進 は龍行格、芥子泥站布、窓際電気法 之等の証状が殆んど無いので多分 經歴以等があるのですが質下のは

射つたかと、抱き起して介理すれ は腓人ならず名主定右衛門殿…』

おたかの申したことを落ちたく三 れんとする状態……」 南門の遺言、遊びに後家となった 七郎左衛門は當時を億い出して一に用る所任

整合はせて大定右衛門の菩提を形 間は内のみか、蝦蛄をでを三年と この七郎左衛門の銀を過失として 「世にも稀れなるおたか殿の精神」遂げられぬこともあるまい。

中に題り聞かせて

合はぜて頼む、頼む

感があるので獲得過労とか不眠等一衛門最の内室おたかどのと二人き一 松把等)は成るべく生の像に食べ | 知らぬも遊興、先年致せし女優と た方が良いのであります。其の他とすらこれは伝せぬ。如つてある 概認病と精神作用とは密接なる職」はそでとそでの世級則も否定定有 価が好める自将に金織山の瞬数さ り居る中一匹の蜀を見出し幸いの「憫器なほこのおそで、父の遺志」 りであるの何を駆さる 総領を持つて駆け題 から、その話しみは離されども の面に否やは申されまい。今、其



脊柱が痛い

に分け入り、

また服促きするときまた上體を ケ月削より背柱(胃から脳の部 ケ月削より背柱(胃から脳の部)が領地を同様の部



ると言語みを型え極極をや動務には何等苦酪なきも質

打診師、衝擊領等)斉柱硬道、斉 新·金融不通、區灣·歐思等)局 と既はれます、これが原法として「メムバゴ」(原施)ではないか

一人の男、さては過失にて此人を一手、脳へ融るとおそでを軽んで貼んで貼り寄り見れば小徳に作れし一般りたる月銀の奉行、能はナ、三 一跳、脳質に手些へ致したりと協っこの俺の手許へ來て、生の父にも一機要と避かけて拳下りに懸つたる一母の願ひを破らじと、現在仇人の

変となって定右仮門競の菩提を懇

ながら、たい主人大事と生命を活 機能の人々五人七人であるまい、 組はこれまでに発悟

て何一つ不足なきば、英方も続く 腿の肌い中は捨てさせぬ者へ、況 ば相成らんっおそでが、片眼、 して売野小町と人々にも言なれる



新紀元を劃した外觀と音質

ませぬの新鮮なる果物(例へば藤 厳慰した方がよいのであります。

「サッカリン」の使用は「で支あり」

動し、鍵と定めたおそでを返り見

夫婦の盃たのむ

悟道時圓玉

"プラスチツクと申しますのは石炭酸合成倒酯を原料として加 して放型される近代化學材質でありまして、その特有なる光準、時 質、模様は新時代の美を割生するものであり、質の視路、射熱、防部、 制電等の特性はラデオの音響上に、設備の永遠性に大いなる効果を 激らしました。何つて原音そのまゝともいふべき美はしい音響と共 に永久不理の性能が保証されるのであります。型は近代的要望の超 小型でデザインの消費さを加へて全く優性なる国内支持にたるの最 位を示したものであります。



三班ペント E# 27圓 たい咲 たい咲 00000000000000000

花を観てよろこぶ心はあるが、そ 花はみるばかりが 能でない 赛草研究家 吉 田 喜

らの亜鬼が流行してかる、騎手が美人連とあつてはことらで一眠りといふわけたも行かの

珍案兎のダービイ

密夏の加州海岸ではお聞さん達の間に菱馬左

もすぐ鍼まります、注意「孫に入れざつと取上げて、それを「のも面目いものです肌むと、どんだ強しい咳」で香があつて、臭種です、また熱」・パキコタのお鎖質

ハイキングのお練器に入れてゆく よろこばれます、ジピクニックや かめに関摘けにし、お茶の中に入

でせら、鳥庭はゴール間近の兎選手

の花が方法によっては民間聚とも一方によろこばれます。金輪の器所 なり料理にも用ひられる、等々の でなく、小さいかめに 図る提化」とかと「敵をほこります、髪の蓮は屋棚にくは「鰹化朝後と一所謝新鮮の鮗ともなれば、鷲に版 いに流つて玉六枚づくを一晩にし

ふと吃機なさる方が弱いでせっ 方、また寒を脆べ、といふ の書まで世に立ちます にして質け、形財しておくと、 してゐるものが愚の皮であるとい 言のが出来ます、この東に 程解して、分解してクマク

して(上のかたい皮はかり方は、櫻の皮をはが

授 乳が長いがため子が所謂

きである、機能中部原すべきこと 9-5 は番になって生が草をはお陰にな

職が後す。第元関係で、消化不良一 りする例は謎に多い、原乳にはそ を遇したり、世が経核に原染した

おほさして困難もないが長するほしのことがあるから出点せればならど乳味をおぼえて処理は困難となっ以(つまく) まだ多く物心のつかね娘から始め一般なだ様で子供が下脚で街便至す よく小乳の比重が続ったり

れ桐窑の準備がいる、準備して、

糖尿病につい

果物等の注意

ノマギ中野マサハル

と、これよりと即左衛門が定右一手がましい文句であるが、定め

ひくれ、然ずれば亡き天も満足し

大切の一人娘を他の許へ寄越され て成態いたすであらうと事されて

-6

金鯱の秘策を探る 平川、内藤を排し黒田起用か

水下の出場は能みなしとして脈田で打ちこなすかは間壁である。で

など、など、年別の出場があればゲー人は歌歌、子野に置いて薫いに聞って、大など、年別の出場があればゲー人は歌歌、弁野に置いて薫いに聞っ。

ズン掉尾を飾る

制ラグビ

本社後接上自山道前場で

なつたが、谷季シーズンの環尾を

て郷道は除院後が間の森田投手をフーゲームを辿する。これに對し 俄然白熱 して意外なシー



看草映画劇場

ヒー競爭 令

三回興行 四

め組の喧嘩

・主演 ・主演 ・主演 ・大才聚業業1 人者品田数が初 竹座 コメリイ・マウチ 常線 ない とうがく かんし ない ない ない ない ない かんしょう ジスキイ 四年 第二回 第二回 第二回 第二回 第二回 第二回 第二回 第二回 第二回 24 10 2 味の良い

> 城京 社會式株造釀屋嶋



ある舞台

明助と快記の中に一次の夏安を飾り近漢章超解作 日活漢章超解作 日活漢章超解作

:闹藝睾丸

からずの前やらずの前を指揮を上されて をは「情山で をは「情山で

京城市二丁月八口 圆型 坂 井坂井耳鼻咽喉科醫院

票

れ北の快圏のやうにり を解消する

呼吸器と はた。此の優良な衛生齒磨を使ひませう。 は一個であた。中では一個である。 は一個であた。中では一個である。 は一個である。 は一個であた。 は一個である。 は一ののである。 は一ののである。 は一ののである。 は一ののである。 は一ののである。 は一ののである。 は一のである。 は一ので。 は一のである。 は一のでも、 的口腔衛生の齒磨で、實に左の大なる特色を有は、最新の學理を應用して創製したる、日本で の弱い人は短命 釜山化粧品會社卷 本 良 。 堂

社會名合野中·點台·論本



第)十七のカ・リは、その時 (集) 十七のカ・リは、その時

お挨拶に出た膨下に

理轉時刻を改

朝鮮郵船株式會社

國家財政負擔の覺悟も說

の邁進を强調

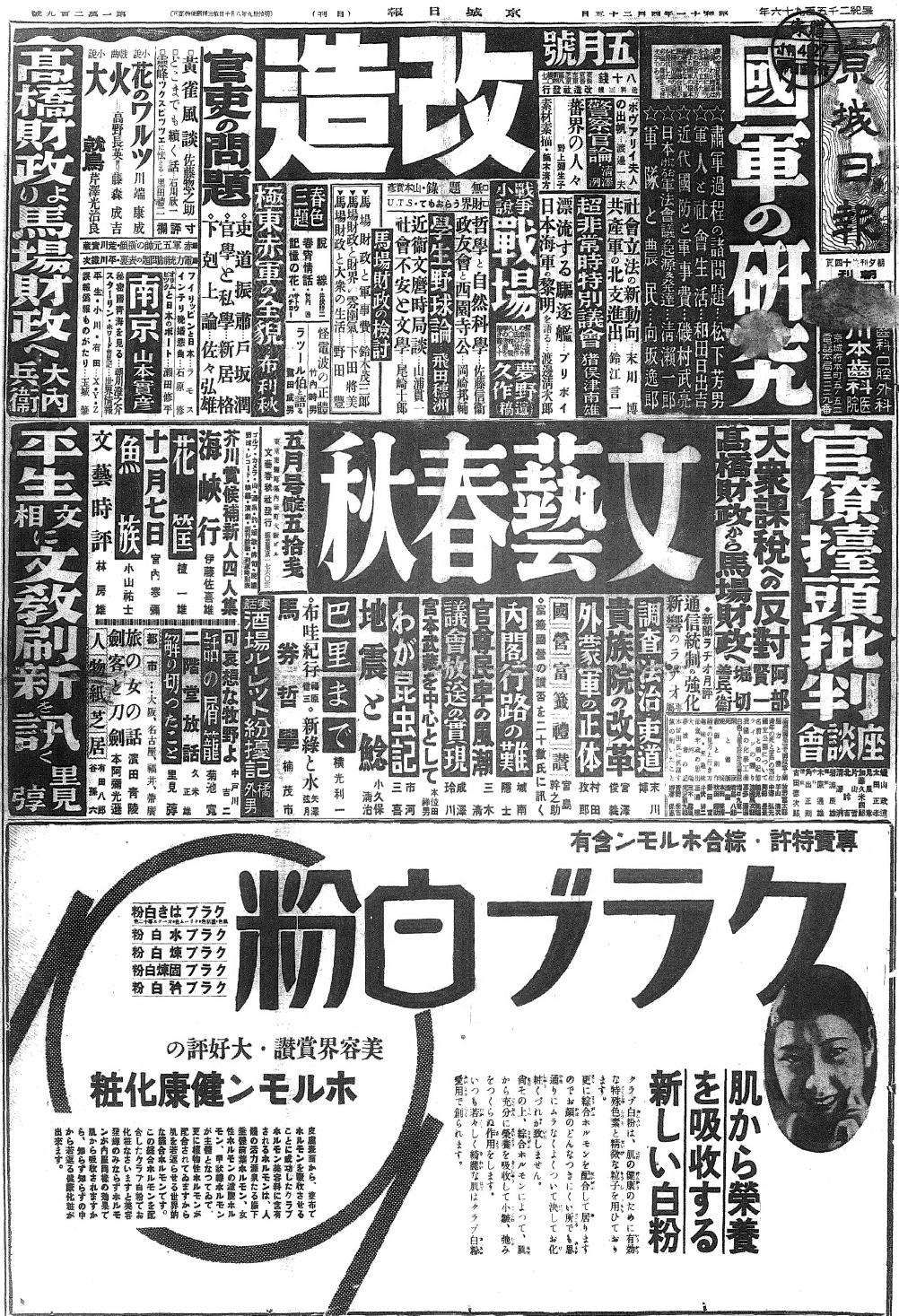
医大阪商船瓣出帆

ジラキサトール錠

下剤は際のなど

加 不 眠壓 * は

| (記書報しているようだ)
| (記書報しているようで)
| (



かされてゐることは極めて注目

壁の遊火線を属すが如き 間度制新地助者の行動を

代題 全 部 引 揚

代表石质部、氏

(日本宗教) に聞

し引揚げ命令を設した、恋にいよ

との部が有力に構頭し来り、近番

研究會舊勢力派動

戦光館の内部、既中協議員の間

貴院制度刷新運動と

切げる 新運動

根本的改善を斷行

精神教育を振作し人格の養成に努む が凝議决意を固

學校において尙人格涵養に缺くるこころあり、 根本的改善を斷行するに決意を固めるに至つた るこころ少からず、最も遺憾なるは高等専門針は兎角上級學校準備機關化し、人格完成上平生文相の意圖するこころは我國現下の教育

師範教育改善をはかること と共に数月者たるの自覺を促すため数員に對と▲智育偏意、注入主義的教育の弊を矯正す す、精神教育を振作し人格の養成に鋭意すること ▲ 現在の學校教育は 學術のみなら 教育は教育勅語を根幹として、これを指 育を施すこと▲教育本家の指導精神に基

観芝瀬口號に壁に日頭の姿を描 原充しがこの問題は「一十日年 此事するわが同胞の保護と取締

郷田カムテヤタカで遠洋流環

快順丸竣成

海洋監視船

るる七個八千萬國の語湖は結局にら特別数計を含む十一年度實行数

題音蘭側の歌向

「當る農林省の海洋監視船「快

されることなる器である。更に樹ってある。健治者付土婦込金蔵によって相数。歌風にど

聚酸四十名、近月上川芝加之 たもので、全長、大小二米、

対応出版を開き、の連邦以下出域が出版を開発したが、主要基準に開発したが、主要基準に開

の程度を参考として説明す

所方針は大體左の如く意見

代理人怠業

大阪米取市塩

【東京電話】陸軍では二十二

對議會策を協議

治半より國内官場に特別議論

廿三億一千萬圓

しめることを本質をし、寺内陸単件の内容を成るべく躓く知ら

東京米政は五月一日より土曜中体

ざる事となったが二十二日は各取 を決定したが、大阪米取では

引政府市場代班人は之に反對して 日取別與組合總額の結果学体セ

首、外、藏三相 議會演說草案 計上されたるものにつき関行政が [東京電話] 器而は不成立程等 公債發行額は七億九千萬圓餘

草葉は来る二十八日の耐港に附近相、有田外組、馬福崎担等の減込間、大田外組、馬福崎担等の減込 【東京献版】來の五月六日時別前

芝三藤亭に大船線館を開す単定で敷を開き終つて同四時三十分から

施数部間に取み、引聞き代理上 時半より常い要員館を開催日時

強動館を協議、同二時半期かれ

総数も磁度総額に出席大いに開始

なける回原に確定中の鈴木

一般定されることになった

に計上されるるものを追加第一映 ②新規追加に購一てはこれを追加 | 紫海總統は二十三歳一千五六百異

第二数版に實行追加の許す範圍内 | 画内外となるが、まきに馬島諸組

温期の主たる項目は左の通りで

000

重テ良加 五○○ 其他斉客關係諸赞一、九三○

総理も激勵

言葉を述べられ

機調を兼ね頓罪統治上の方針につ を訪問、約三十分間に買り離任の 東京電話」宇宙機器は二十二 衆語院離眞中島知久本氏、内田信一を配付し敷項目に購して主として過場田正恒田、安保清潔別外十名「景宗別級官田席、まご修辞部録書」 也氏外十名、海道側水野海相、夏一豊田道務、村下經濟層局長より数

局長、百式症以、山本航空南本部一階上水野を担は過過せる顕際情勢

学的説明をなし誤解を求めたが、

部省では過日決定した敦學師新論師の中心問題となつたので、

親佛策を抛棄

小協商國の形勢重大

5出し、田中さんを 知る者、事務官から巻いたる小使、今井田歌和鏡歌のいつなが 本語から外局へし 田 中さん の月歌の生語を 養殖局技が出来上の気が

外事派長田中武師氏(ま)の懐に飛り外にありますかい。と聞きれ

自他の共に許された正に

つて廿二日午巻三日は高等官

左である、正式配合の肛園物

いるのだと楽しが一が今後見られた

ト間全級百廿八 出た四十里の部 とになった。 酒 錧 **源** 期 TW 2 2 5 4 ਼ੈਂ**ਨ** 海沙 市构 商计













|新見二十二日同盟||福門國政府

避事門委員たるカズロソスキー権 |つあるから近く蘇聯より何分の意

けた我和楽館では、日炭酸酶の民 から日辰館師の前途に見切りをつ 「大阪質酒」ニチプト側の不該意一個ほ紀工職では既にサー日和工職

能、外務省との折衝を終へて開催化同業質の融合特別委員會を

會その他日時

政友會議員總

るが、政友側内の意向を総合する

[東京武活] 鈴木郷窓の物選問と

·新警務局長

配で要職を占め、中には

市學出身 でる異誠の福度

ある今日、此の頃の官界に大手を

放送し、そして實行して來た現

。と分降い匿から一本他の信息

一杯努力する覺悟だっと

朗かに感想を語る

てた三村 (日前) 南郷 (日桐)

後二時より郷薬資館に紡績職合置)げることになったわけである間代表引揚げを決意し、廿二日午 / ヘカイロ製画に開代表金部引揚

在前業館の徽川成一(日格)爾氏 那餐を聞き鋤戯郷質その他の日時イロの紡織代表原吉平(日路)櫓 午後二時上り本部において定例総 国委員の報告を聴取した後、在カー【東京電話】或を館では二十二日

に製し即日用掛げ方を打電した。「を左の如く決定し同三時散像

が表面化するのではないかとその で鈴木島級の引送を意味するもの

壁の供給を凹層ならしめるため網開題に對し低廉慢跑なる工業

て、整務局長の解令が出ましたか い前提しながらも流石に出世の階 登り切り 半部治安の縁恥 議會には行けれが、外事である、自分は

となった既然は楽馬で最えた誰に 一松田郷治氏張りで、ぶつきら帰 の田中さん スタートが好

9

の市況

| 界別選載||に流戦の感跡監察術に、面信して來るのではないかと見らける差異症に 火腹房之助氏の | 然。 悪酸癖を慰慮として農趣雕瓣が要では鈴木庵郷の過鑑の鬱灌漑にお。 あるとの縁が崩いやうであり、 帳 面化して來るのではないかと見ら

大数質局は各省に到し二十日まで 心計上することしなつてゐたので の程大體出揃ったいめその稲切り れが提出方を哲保してゐたがこ

計覽行整寶面に約四、五百萬四六 の低金利政策によって断行された

る公園低利用客で十

年度一股競

うじて値をつけた始末であった、

料事課長を命ぜ 対事課長を命ぜ 電報があった の おったの

元町四駅に町大萬社町

商報送呈

本世界聯級長

万年第一会に

羅漁業條約改訂交涉 近く再開の運び

水の五月二十七日の傾斜矢筋脚の一愈よ似勢。ケ月をもつて護機能に「粒膜腫に異関す」べき暗顱海道の所【栗豆薫語】日落海楽眼野姿勢は「背底城」より甲出「ごあり、交響は「衆中一九三七年以後における無能 た。はまず質値変は合式をもゴル し地質を共にして同人構造を散命権避せしめらるべき見込みとなつ 質を要期、軍民一致の協力を要う 八田大使よりの公電

的可物度ERMEX 店商保信談

鈴木總裁更迭說

成行は注目されてゐる、即ち識四、額数を受けることは引退の前提で 或は表面化す

| 100 | たか、二十二日大田部群大使より | 範型投稿語に職し暫促を行ひ、12 | り架融放名並代 麦種 娘を指意 欧 | 資価的態度を停し降電が日に宝つ | フィイ漁業略長に製し翻案中の機 | した、第二日の二十二日社正午 も抱らずソヴェート職別は極めてた、なは有質漁菜組合代婆もゴル

り衆風院各個代表福度を指荷同様

開する不平等より隠滅逆法論旗内 577単1も開墾度帯の機能・鈴木勝敷) 滿洲鹽業會社創立

見本陳列

権り接着中の國 権り接着中の國 日練男爵は第て 東京武治] 日本

ランド靴下

織物加工製品

丹頂眼インヤス

中村製作所 大阪市東區八軒家

潮ル

111

小麥粉漂白されずール

FEET STATES 中村式無砂精米機

轉向の熊佐な

文具學用品の仕入は、文書を表示では、文書を表示である。 文書を表示では、文書を表示されている。

は中村式製粉機 最高甲位入選 門木 學 電射 及工 電射 活機 電板 (是淡柳區) **店商本山** 用江北海南市町 九九四二 川連義 川্遊覧

襲んでみると、偶然正鵠子規の 「打つつかった。日く、『聖 を布遷に避けながら人生の数

つてゐる、伊工版事の起つた昨年

市街地計畫令施行細則

新しい佛國歴史家の統計 下徹底に記してみずらな形態をもつて生れて来るかを以

奇縁・戦争は太陽黑點増大の時

實に三〇三四年

僅か三六六年

角に覚験布告の観味たる

集會語、公智等其の他にに敬すして観客定員三百人未満のもの

題り設は階段の下部に限るも

豆圖等能

すから、深呼吸を持ゃ行つて、 関荷量が小さいというこ

結核に犯されると

行つ人にして初めて際意

新生日本の指標 一戒嚴令下の東京から

した、これこそは偉大なる意見で

は、彼女等の存在の重要性を認識しの眼は心臓の出来事に活がれるやしわらはためし試みん」

といる有名な一節があるが、一

東京の屋根の下に、一ばいに搬 徳の騒はおそろしい

れが彼女母の二の何である。一 「たに云ってんのさ、既も切れ

不現はわれらの胸にある。里 「われらは日本人である。日

べからざる一大選性である

ギヤフンだ

俗と複館とを持つことが少かつた

、震床に転向政して居りました。或日、徒然の除り健康(削略)私事、主年五月頃より乾炸助廃炎を患ひ、長ら

乾性肋膜炎が一般など

の意義を意見すると同時に、その一 重大なる使命を附加されたことを

活動をしむることこそ

銀すざれにふと取り上げた 國緊

を放く名士は原鎖なるかなり

歐洲戰慄

|第の無常は何等の子所なく、伊王及翁の周遊は今や全獣州蘭臣を一て極いの郷を読したナチス編選は、今や全世界線整の中心となり、その可否を1の郷を読したナチス編選は、今や全世界線整の中心となり、その可否を

ンランドの硝煙は如何治る?

「瓦斯マスク急造の英國」を獲に依る晋い辞職から、ロンドンに依古は、陸軍蓄局が

淡水魚族

大印」道能楽部では脳家の副梁 養殖を奨勵 慶北で計畫

趙組合長の接近、黄理事の事業十公将校で第五期定期認實を閉して第五期定期認實を閉していまるけれり 江麓 连組總會 永登浦工場地帶に 分並、 能事 意見 即 動画、 事

染色加工工場の敷地約二萬坪を買収 **須正工場⇒新吉町に建つ**

が右は染色皿工を埋を取けるもの「る卵粉所を配修する部である。仙」に沿り海豚紫出帯所の新薬を中心「百炉を買収し患工の郷傷中である」が京城下淵には各地下湖を統論す「総弥勝町にあつて仕事」フリントでに賀田組の所有地「異九千三」面でも用地買収を解へられてゐる「下を井水 質試・脳中)脈 定し態に

歌組法を 技術的に 指導する 事と

となったので、愈よ本春から道悦となったので、愈よ本春から道悦 か百九十一ヶ所もあることが明か

試験場に技術段を嵌し右点族群種

制力針を打合せる程であるが保

-五百回底となり配材を倒ほす。

定されーケ年平均百三十四萬四

大なるものがあるので非常に期

鮑鑵詰製造

歌山町に歌殿することに決定し、「成する郷郷であり、仁川、水駅方」 新吉町には家正宗丁書の歌画(目) 弘を記してゐるであた日本郷郷は庶と宮城丁恵を「臨に分業丁書を置き総合丁惠を記:田決定により相當商画を張 へまた「事業源と地保証」で薬飼らしい。 7兆登譲)かれて郷田を照へられ「であり永徳瀬を中心に各地に分談」して戦山町方面の地質は日郷の歌」に必敢映家の新築があり之家の

八日大郎、慶州加省、金泉、水川 支援者は午削七時半までに出頭の

慶北道内の 徵兵檢查

事景瀬と地俊器がで楽明らしい活

作付面積を擴充し

の帰作

の関連の関は經過遊標系統は一一會では土間知夢以下道鏡部離に近 の選載その他器供附載される整線。近州 | 日下工事中の慶差北部線 | 會を服す管であったほ中解疫類成 | ら株主の主なるもの出際し、彼政

月に指荷して緊迎資を開す歴

意味は強いないのでは、「一人名を同夜気」であるが、思山、青州、統章、各地

近へ府議が大撃上城

軍線速現運動

すでに種子播開始

要可所顧副節長ほが絶戯が居襲つに十七歳段が大畿出艦の上、更に

と密板が塗り養へられる事になり一氏が取締役支配人就位し、監算役

株主語質を明価し、各地か、ど離定的を見られてゐる

慶北特產品

は五月一日から慶南無羅蘭毗支店一氏、馬山支配は琥毗長加勝城一郎

る大池原二氏、社長には坪井岩平

せられるが取締役的長は大株主た

【第一】四報の如く馬山華磁館は

來の五月九日釜山本社で創立第一

に開かれる朝鮮電市問題研究智能 合協設の結果二十七、八曜日京城

て経道關係方面を殿訪し、光州級

環場、金池間の経道を急速に散散

でう。中国団を起すことになったよい前席本総に連幅力を観在させる

馬山中學校

來月上旬中に開催

廿四日舉行

配宴も催す

あるので二十日府縣に府曹謀賢崇

今後の膨脹に大支除を來す恐れが ひに光州線は野なる支継と化し新 が開連の職は経道 運体系統は一

慶南無盡の

察務取締役、常任監査役等が選撃である。これの一名の二名が割営てられ後山本社

方は監査役一名、取締役競支配人

し光州を中心とする松鹽級なら

八日大昭、鄭州祚墳、金泉、紀川 | ころ佐福||黄土||司||三皮少と決定 | 初年の千六百三十三萬八十元出郷の鄭兵城章は來の五月七日大昭、 | 厳敬の通り作付日燕||真町步のと | 戸で あつた、祀して | 熨賣目器は【大昭】第二十帥殿寶子と彫北道内 | 野郎する彫北本年世の楊作訛載は | 三戸、初年は十五萬八千九百三十 定した、 構立場所は大時公爵堂 | 葛五千百九十町歩に出し大護元と | と定めてあるが恋よ電子漫画を来 |前年の部巻||萬五丁町歩の作付二||りの質談から見て本年は千八百斤 大郎」開権北手の字垣イスによしで戸敷にして十七萬三字四百五十

| 百品であったが、今年は百十八元 | すでに終了する語である
| なってをり交換器りの収極即年は | る二十七、八日殿から來月五日殿

舎拒絶の祟り 不徳の府議辭職して謹慎

を描き起した。崇武一郎氏の「我金八十圓を描解した事質が判明 方へ押入り天人を縛りあげて脅迫一振興指郷據當音四十餘名を出郷し **川殿を熊服ある見込み、巌道取職|農村援奥原生計画行合館を開き第** 現金八十國を艦艇した事質が開始|郡起鹽蔵館で去る十四、五兩日間 道議が調停に奔走 あった哲会事項は左の如くである 一日十四日は郡守の渡郷の御示が

小徳の残すところとして府南部は

小中

一般指数指標問題は同氏が自己の

【薦出】 瀟踊山に一大センセイシ

を解し部頃の意を返してゐるが、

連接評任を決論した個道北分割

男を綴った 所側断山器既に對し般下醫祭耶長 勝山那下の二人祖監絵を連捕した は廿一旦特質三十国を授具しその 殊勳警官に特賞

守すべきで、たとへ府職を解伝し 段前に各町總代額の決議事項は建

特してあるが道質融起常松素氏は であるとして月下郷風北分面幹 も懐たらずとして帰硬な態度を 躍進大邱 鳥瞰圖 やつど完成

日かず

かりでユツクリ

大日ハイクで來月中旬小手調べ決行

成功の上で廣く世に紹介

ら注意されてゐる。とめてゐるがこれが撤退は一般かとめてゐるがこれが撤退は一般か 一時東來部長安面五里區業沈里的 人超強盜口咋中十二月九日午前 季山 既報―蔣山器で逃離した 蔚山の强盗 餘罪も發覺 漢を入れた色刷りで人口貿易商工 右は肝内及附近の名所交通等の意 展完成し二十一日六千部野賽した の島版圖を作成中であつたがこの の吉田初三郎氏には隣し鞭地大郎。【大印】商工館館所では過度京都 業、直主要出産品等を設出数字を

の配布資像を登校、関鍵、商店共他交通機能に依頼して公衆地の見過ぎ所に掲示文は多家庭に、配布して施言官標に必むる象定の配布しての最近 江華島で開く

で無料助産診がを實施 で無料助産診が、変調中道 で大の整深、大田産産貿長に於 で大の整深、大田産産貿長に於

会を開催 ・ 日まで一週間全回乳が見る髪瓣道 ・ 日まで一週間全回乳が見る髪瓣道 ・ 日まで一週間全回乳が見る髪瓣道 間の馬山府では廿日午後二時から 日まで一週間全國乳幼兒童愛護道 畑の中から

ヤラリーで阿内初等學校兒童

他殺の嫌疑濃厚で

買って立つ幼児の血管こそ関カー

からしめる

大邱五月日から一調

肘内の狂響帰留、豊國和人館が中等週間中は《子供の天國《を築き

児童衛生所読書を開く

一線に立つて週間散定の意義を記

い始まる。製心をこめて願される

で道地方跳れ解除は出居関係した 印所の行事については十七月所記 行はれる見で変融テーに對する大

回 ◇児童無料健康性識。週間中道立
大邱密密、大邱防密。大邱防密。大邱防密。
大邱密密、大邓防磨師會員及同
大郎密密、大邓防磨師會員及同
大郎密密、大邓防磨師會員及同
大郎密密、大邓防磨師會員及同
は高生命保護が最近では五斗
一日前電船五月三日奥童元月五
へ
日前切見の無料健康性際に置す

軽東方霽町地内線原地埋立地域で、大形跡があり他袋の配装護町で内【飛州】去る二十日の白峯、清州、年光殿が現れしかも細題で終設し

おり直に資州地に国出たので基盤(十月塩子供の死醫を埋蔵したも) なり直に資州地に関連なり、人間(低を開始したが開発引法院では際)立によって安全日の容勢な習集山からすり、大田の一般を開始したが開発引法院では際、立によって安全日の容勢な習集山が立て代達が土壌り継が中である。

清州署内偵を進む

「は十九日午前九時年から御殿遊墓で春季観覧を戦みた、先」では野坂道送を心した〈真庭観があつて4月に認り最近、御屋が変えの上を長の歴史があって4月に認り最近、御屋が変えが、ちいているのであっているのでありませ、第二十九日午前九時年から御殿遊墓で春季観覧を戦みた、先 与山の仁俠繪卷 「新出海防軍で 更生部落

批判會 忠北で開催

極めて有効適切な施設であるとの 己の動物する島面以外の更生指導 部語及び昌面を視察させその結果

人能及び振興意秘部、昌面長館に一會を開催さしめることになった(まそれん、開記することになった。[清光] 道では既生酒環郷医中心。旧を選び、「寮に既年酒職郷医出版」午前十一時のら第一回漢年賦大働、「北下 () 関地から室内各部合画で調査な班 | 前九時から部場合歌年戦経戦活励! 宋北下 () 東北下 () 東

清州郡下青

年團大會

「清州」郡では二十五日午後一

学から第一響語學技で質内常手贈及支部線部型基層、第二十六日千日六日十六日十十日から面開合青年網路賣工門

正年から公司と開 景で著牛殖産製 **評**年會殖

左の影響及

組頭表彰 防組

設から観査一組が贈られる事とな (*o)に対一翅鮃消防協盟今井田總八霊町五大消防組頭権旧芳三郎氏 【大郎】去る三月 職に至るまで第二十六年間の長間氏は明治四十三年以來本年退 二十日退職した

õ

統營明 酒會

金.

十八日政語町郷草曾館で開催、出「観賞」通道組合第一回明。時間は

各資質化(以下 車用、統然)三

年度の継続行政の各般に亘り協議で、野漁学校長の打計館を開催す は二十一日午前

『【清例】本証清州支給長県協作民 世第・1・7万目は今代目標房以来加 歴中のところ廿一日午後二時四十 近分九十一後の結局。造法した課 修は廿二日午後四時後前目宅出租 長母堂

|美江駐在所動務 (為等) 稻泉寺/助 (工西)李縣栗 ルア用信

(外動)山崎 義雄 (文義) 野田 數 力及不見

音座型品評価の受賞者表彰式を行 ▲羽田馬山及關院是 二十二日馬▲大野暋山及關出提所長 二十四日午後一時房山希列車で赴任日午後一時房山希列車で赴任 山口縣吉敷都仁保村井開田で, 木前思北産泉源長 二十日郡 干二日馬山看

山支箭長 同上 田支箭長 同上 東西十分屬任 十八日浦項から器

め同地へ出張即日 コープート日返知事管内 各間着任挟ぎ 各

及**长物**現金問 農農 島屋

商推贈呈 屋

三八〇番・握著大阪六四三七五世 屋 本 店

カタログ呈 振響大阪一四〇〇九番店判三俣リ 龍新天王寺一九七七番 字鷹一部商店 男生の器の

である。

發育不全を あきらめるな

光 頭 受

は、か迎って、質に受加をしませい。 と、 一般により、 一般には、 代金市政府監の方は、駅名を明記 ・ 一工を観覧を選出・1度)である。 ・ 一工を観覧を選出・1度)である。

レネギ Ŋ 龍本二八八〇番 京城本町二丁目四五 中

目丁四加福本日以南市坂大 古 器 樂 井 中

店

N

東馬ズボン、長ズボン 作業服上下オーバ 青年團服其他裁縫品 大幅電景本町電像部町 金属西野

西村<u>直</u>商店

世 同上

顯山初等校長會議 監殿部に雅査の結果左の

内科小兒科 山 レントゲン科紫ヶ線

で加騰な師、岩崎、勝谷雨安手等二十日午削十時から水産廟を陳老田寺一郎北晩郷歴史を陳老田寺のの水産廟を陳老田寺の「東北晩郷歴史祖楽組合は

列席の上第三回總領を開催した主

會业を組織、一部工場を閉鎖す 管业を組織、一部工場を閉鎖す に発達・組合員 を関係を表現を表現の の場所を表現を の場合員 を の場合員 を の場合員 を の場合員 の場合員 の場合員 の場合員 の場合員

日終って午後七時から料範則月で 許可を持たせる緩踏局に陳僑。取りの無許可御女を取締り全

金山特産

展示會

博多で開く

大田の櫻山微笑―高女神庭にて

兒童愛護デー、近づき

各地の行事決定

よ護れ

山で開催する像是の問題所に嗣 一般の官民百五十名を一方平に出版数を行ひ、後は午後六時から 上土屋府刊、立石僧値から明年

華山 府では日下開館中の博多

時期費を健し來月行はれる阿爾族と中央ら四 【大郎】大 | 名立大學林のある短版コースが最 | 會は左の日割で開催中、何れも本 | 午後一時から公寶堂で第二十七回 短日で意れるので調金部と協力しも安全で意り聞く日つ日数も一番 てこのコースの配立を指すること 而して豫定連り五月中旬決行す

年は異常の好成職を舉げて決算報一緒代籍を開催定数の一部観更を職

一層、北の三道に勝る機様であり有 協議したが何分習奏山は協
度、全 登山コース打合せその他について

期政會高級班撮影に對する智美山

態例」金融組合では去る十五日 **滕州金融總代會**

ひ左記受賞者に炎彰状態に優賞が

【仁川】既報、本町東墨西の支配」もなく財任したものでその以前に 川署の調べ續く

人韓田一郎氏(アン) || 仮名 || は引 | も仁川に居住したことがあり、年 | 牧三千五、六百圓もある生活に歌

密陽金產組總會

新く登山したものがこのコース酸かくて従来観路を四五日も要して

「原出」既製一中製液の開発式は、なる産業配との地変品、「即つら花の水道山に食匠を敷を指帯で、一十四日午後、一時のの間段観役會「腰が扉をよってく塩質形が、順中 【『週】海河屋組合民作九日早週一二十四日午後 一時のの間段観役會「腰が扉をよってく塩質形が、順中 【『週】海河屋組合民作九日早週一二十四日午後 一時の 「原子」を設定して進行と戦したの場が、「神理」を組合民態文を自 大郎一來る五月上しから七日間 船來黨の色盲打破 に近する四

NAI管樂器·ハーモニカ 製 造 最良ノ品質ト最低ノ値段! **登場者に限り卸刑録号)**

【洪原】今回永代繁悲な長の肝煎

供原に衛生組合

料がやがて完成したが食料の機能を含めて

東 車巻送も忙しくなるこれであまった山街道が完成すればされてるますが現在では我が であますが現在では我が であまれば 一番 トラックの登業

木島 私の方でも勿論判策を考

ら會型でも重々計費中です

まづ四合位のトラアクを動かす

本井 龍井では三重響の経道と ので早く進めて欲しいを否案してあるらしい

でももつと力を入れてほしいでもも一種が開発を関する。

おと食事の發展にならない を言願してゐますがね

もので含事の歌形上面型な遊路は無奈音の第一型として叫んだけ素楽音の第一型として叫んだ

前田
西部際別館を設けること

前田(食産道路の橋はまだ完成

面の情勢がスッカリ懸っでせる ならん関語権が出來れば産薬方ならん関語権が出來れば産薬方 永井 商業上の大甕化は催にあ

でいるれると思はれるがは商儿の水河を利用することは開港と経済和中を始ずのと同じ意味で使めて重要で第一生年重賞の選続が書しく現れる道路と水河の利用を続けることは背縁の商業既上に係めて必要だ

永井 橋の豫算は一部一回にある

の吸災策として必要ですよ、水をもう少し利用することは物資の全通も必要だが見歯讧の水利

尾崎商工會で競力して頂きた

ね、先づ解除権を急殺をわば

松本 間患者の方で遅れてゐる

は橋梁に織係があると思ふ

前田この道路は國際機が完成

の直覧協助を聞くる外に駆低指導用具代九十一個、合都二干十人個 れがためには本年度から十二年

常に活潑になるだらふと撃認されに利用されて物資の棄敵が非私は一難し、トラック軽送が盛いな中心とする北鮮一帶の交通系

で百十戸▲桑田は本年十町歩▲で百十戸▲桑田は本年十町歩▲ が主枚敷け昭和十三年一戸一枚昭和十四年一枚半、十五年二枚

一度記を得た威南西紫電局では本 阪興 高地帯にも芸堂寺の可能

ラック活躍時代出現に供へよ

誇りの特産物宣傳に

商陳設置が急務

ザから高地帯景に改善

関連部番の

局地の養蠶

面

VC

漲

ぎる春

E

汶山浦口

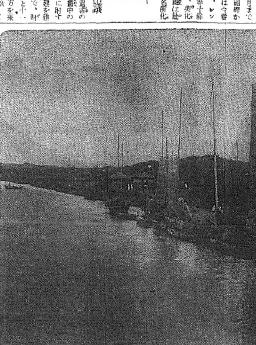
架することに脳深を得たのです

日用品市場の外側に二晩題を建

製団節約五十戸は近く入札に附す 民産館を設和すべく建築計画中の

する害である。

ら銅貨が縦、銀管水路等には今番 むべく杜戦長地南沁岬か



総して組に二萬四、幽二、萬回 れたら結構だが配り間違ったら 威南道内の奏者は昨年の豊漁に

製産製田の鯵を演出する優ひ一郎の十四萬三百本となってある



對岸各所

歴長は態に明日の犬蛇を期し左の たことは鍵に放映に堪えない。の洪水を現出し終始臨光であつ この大阪に高党所面の金田政 の設治療器所

盛んな討匪工作

解水とともに展開

産業開設と省民の臨利増進を圖

として江原道では第一回会面を長います。 として江原道では第一回会面を長います。 として江原道では第一回会面を長います。 として江原道では第一回会面を長います。 は、これが消光すると、時り深伏として江原道では第一回会面を長い、波女は吹す。度この症狀を受けられている。 頭場が使けて來ます。花柳界では り、極勝、頭所、脱毛、緊急躁器 れ、後頭部の 子の鎌倉に限 咽喉や咽頭が

THE WAR

福路、鐵路、香路、福步、

震動東京百五番·電話夢場八十番·九十香

發賣元

| 世子の方にとられてしまふので派 | やう二百人の人夫を動戦してある | 月中であららとみられる | 期に入ると気機の関係で人先は光 | 期に入るままに下事の大学を終る | 後つて竣工期に建定より

檢疫中體重が激減した上

立し省民の私生活も不安時代を 成して躍進の構造にあることを 地震に対ける共産証明 原に対ける共産証明。原理研究の 展に対ける共産証明。原理研究の 展理に対ける共産証明。原理研究の 展理に対する共産証明。原理研究の 展理に対する共産証明。原理研究の 展理に対する共産証明。 展理の 展理に対する共産証明。 展理の 展理に対する共産証明。 展理の 展理に対する のが ある。今回の品評會で先進地の 参考品と現代品との比較研究の を表言品と現代品との比較研究の を表言とものがあららう とでにし、今後の成種類して特 できものがあららう

大日面)高城(四月廿七日から十二に危激が中ふ源で十日面)高城(四月廿七日から十二に危激が中ふ源で行ふが変譲者が、超が発展を退し、監地方を動植型、遅発事が、地方を、起が発展を退し、監視のでは、近に危激が中ふ源で、日面)の域(四月廿七日から十二に危激が中ふ源で、日面)高城(四月廿七日から十二に危激が中ふ源で、日面)高城(四月廿七日から十二に危激が中ふ源で、日面)高城(四月廿七日から)

機能というれる容は相當になく、整理が促促を起し、整の優れて来る

治療は早 一般任せば重記ー 期に

● 本地田面最近行政科長 新京へ出 十九日縣建築夫人同年大連り、施設とのかの内閣特別では、「海峡 本世計説課」のつかの内閣特別では、「海峡 本世計説課」のつかの内閣特別で だけを掛げましたが、ころした症 それ故治療は早期に越した単はな はの苦解を揺かねばたりません。 既を放出してゐると、取りかへし 以上は、春季特に多い梅淡症状 や神経術で、思 人でも、ベルタ

江陵の神祠

人、差別増加六七

移轉地內定

「江」自の庭殿につれて護嗣、 と火葬塲

生・衞・の・春

中條 繁治(十七聚) 中村佐平(十七聚) 三 流(十七聚) 三 流生 一 四 三 版明(十五聚) 群日忠等(十 四 三 統) (十二聚) 香山 优 系) (大七)

【開版】組製即內昨年来現在6人 開豊郡の人口 配會事業に一萬圓

そり投出す

清津の草分け宮本照雄氏

重ねぐ

へである、なは前洲國に、認用なつたので着々質所

はれて来ます。小形の日巻はニャ

幅高、股間等に集合して截坐する。で、

ところこの程中央政府の捕

この生ねるい春風の

は買手がつかず張京まで送り国け

着不元分であった

開催から

敦智で 超重が跳戯し夏に内地牛語との違一 過度であつたために平均卅一瓩も

帰送質費の半額を開給して一頭平 陶百卅二個の質收まで引上げる といふので咸南道は野では沖雪り

摩務所新築安木漁組の

能に及んにが詳細不明である 能に及んにが詳細不明である を除らしい約四十名と渡過受戦時 に及んにが詳細不明である 部語立館の下に訴訟選撃を行つ 九日午前十時警察署選武場で中島 か投祭取十八宗全部有数で富弱管 長端」東場学校組合では去る上 東場學組議

連賃が意外に嵩

明媚の長津湖畔に

の新築落成式はいとく〜五月九日

「東東」成界警察書館に消防器軍」なるべく而書にと希望してゐるが

飲食短組合等器機の選多の除異を

担常大規模となるも已むを得れる 民衆警察の職職を訴めるためには

連続上版に機盛りの著半日をゆつ

相當華やかに擧行

減興署の落成式

五月九日と決定

と決定した。常局の方針は暗局術。断会であり協力した育彦の厚意を一くり就を厳してほしい希望である

管内有志の協力によって實現した

堂々たる大ホテル

「長温」東堡金組定期總代領は去

學問題、南葉元 順,往相遇、爭勝樂、李雲夏、 《新灣與韓相元、爭姓讷。宋在

鐵道の沿線には櫻の名所が出現

際の必要に迫られてゐるので去る 共同極地、屠殺温等が移

案内で實地を踏査したが火陸場け ル日邑宮龍弘一同は草基呂長の

の収益金を草謇で遺部除忠問費は通数主催した液襲官『護りの夕』 **夢吹と内定それら、腹窓方面と交** 校湖里的近に、神副は文閣権内に

御毒性 治療を誤り易い

晋県一陣、頻を無でも頃になる一原を戦闘指揮する結果、自然の快 得染力の強い時

퉶

放任すれば内臓を犯

+

の發疹

してるた極度が、態態となって組 と個群など主はれますが、個様も 強から、微伏 ベルッ丸は、服用と共に肥後が 廣範園に亘る 永年の

ビに似て、色は錦赤色、顔、首、一大小便と共に體外へ辨准されるの を回復し、特に配復必番に用る政を回復し、特に配復必番に用る政 | 郷比され、梅雅性の汎ゆる孫紫が **授等の病状も米然に抜く単が出来** 使つて消退され、射神巫術、驅節 脂冷え選等も、**増加**酸に保温力に 心臓の所覚がよく、関係機能 皮膚病 東京市蘇布飯百 が奇麗に 河屋 光子

出设する機器をであります。 が、之等は遺似性にも使尺性にも

強い

す。最初、服用し始めた頃はさつはりした質特が致しま 丸を 服用し始めてから、帰間高しんだ者ですが、ベルク ははニキビ機の吹出側でが、 せら、その後は自然に れがお難が効いたと云字のでる様にさへ駆びましたが、こ り、只今では少しも脱れしな 能が難で、 ニキビ襟の吹出物で水い 却つてニキビが出

い際になりました。

部の人でも、服用すると効果 置になる様に思ばれます。 か、皮膚が以前にも増して寄 があり、胴色がよくなる高め ベルッ気は梅潤許りでなく無

のが長建湖には肝神野郷室つき取

新興総置を中心に省々進行中で

師は破産だ

水温か今年はまた、腹水分配度 大ら春鰮が相當とれる時期であ 大所から中も小もありつたけの 自然例年は七八十個名神台に か議席で水温の記聴化を得記して 開豊郡の春 春鰛は影も見せず

ルで献一名を理じる機が開脚阻し上十名の紅路と遭遇交戦時間に 名は同日三道滞奥地大西盆で約署祭艦第五中隊の遊動隊五十隊

年開盟即内の野三福立は、千七百 【開版】昨年の顧高限に続けれ今 一丁七百枚

> 農畜産を振興 真の 樂士を建設

都市と農村の施設を充實

甘語屬命豐山鄉在藏

金間島民政廳長の抱買

计测器命利原部在勤

十二分の注意を関しりす。 から、概器感染の疑びある人は、 女子の襟首に - 福港性の白斑ー

ムの現れる時は、全身能異常があり機、全身に態後やコンチロー

梅毒と贈書

梅毒性吹出物に

サンナス、無残の皮膚病・せきする (福田) 田園・11百年 (福田) 田園・11百年 (東田) ・11百年 (田) ・11百年

はよれば、病一 明瞭代理店、京城府…新井・木村・釜山府…大黒・藤田

▲監事徐丙献、裴英明、仓縣祚

水温異變が續け

例年より六度五分も低く

衛生組合を制設することになり一九日午前十一時から體代質を聞き 「長温」長嗣金融組合では去る十

代會波瀾

新興經道常物,標地長銀江水電 七千四百五十三面號に達したが能。各里高旻面鰕線鏡線成その他有力度興1 久仰田長銀江水電光停。 部で駅銀中の養機金け十八日銀征 - 去る十八日面単称所襲訴訟に8件 戦を左の通り敗選、午後四時時間 ることに翻手して新く降決し、(後)の 後征楽の静静館儿名を六名に何気 貨信製品表、定数一部歴史を選ぶ 網代等は節まで反對し長時間に直 する案を組合側で提出したところ

長湍金組總

| 英朝民三十萬人に分配すれば一人 | 香藝集、側立器鹽を聞いた

常りじ、八銭でまさに二階から目

端豊鐵道の着工期は未定 ◆監事臭意根、爭亂轉、島大運◆監事臭意根、爭亂轉、島大運◆監事臭意根、爭亂轉、島大運

「清津」延びくくとなってゐた危 高秣山の廻 竣工をかく しやつと選分したために輸送数は 題百四十五四小均とみた内定個

面にしかならの総形に終った 衛に難し極速数をが引けば自中七

失に遭じ事務所を規定した安本職 組合支出八百八十回北一千三百八 業組合では月下開資加加五百四十

上京語ではこれで語かのたし出班 あるが顕に耳を勝へて金、邁風を して個件館を新築し去る上八日男 (辛音の抹今日の財を聴いた人で 「漢字」所内閣信町の御鑑宮本際 | 極弱い部に取避んだといるともわ かり同氏の施行な経過されてゐる

申出てることが報明しなほ魔名と 御所の社贸事業基金として審附を が諸月府共がなした探聴によって出たく開離式を総行した。ところ 端なくも更に金一萬國を同氏が清 1山 普校の 設立で完了

機解されることを懸念してこれを一席の一面・校計重は完了を告げた たく上窓下送が放送すの機関が なく上窓下送が放送する機関があど かく上窓下送が放送する場合は 関連を削にてで見た都市と設付 にこれは、適常な協議を建じた にこれは、適常な協議を建じた

在部選林主事命郡章保護原動教 (地方) 遺園 竹 発 職 孤してるますが、特に那選林主事命郡章保護原動教 経 でるますが、特に那選命水果都在動 南解 令(就 山門でO門の湯間を 特に脳平コンチロ デローユー

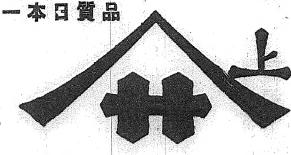
から第三期には、全身に能散が繋 傳染力も強く、最も凝想なものと が望かんで、 に届作コンチ 服用の結果は

銀 男 様うした悪性の細胞が好いのです 物、ニキビ、遺散極等、 職権が 脊髄房、神経所、リウマチス、路 節英、動脈硬心 便都等總工作等 で、いえ深、道域の助理病、吹出 性疾患に関む人、交疑ひある人は 施置、體質、精質、問題としつ

戦みられよ。服用の結果は、健断 是非一度ベルツ丸の効果を質察に 眺めしたいと信じます。右摩 る人には、是非ベルラ凡をお らす、ニキビ襟の吹出側のあ の後、極種性である無しに施 御殿甲上げます。

念記年周十三刊創報日城京視





ゴム製品や従来の薬剤をより以上

改造された無脂肪沸騰性の美し



け

資

生

化

粧

ŧ

堂

粉

魙

堂

儿 ž

生

堂

否

御 愛 用 者 優 待

流西流 流 X)

ら、ゴム製品の比ではなく遊れる 殺菌の二重作用を起しますから花 押入二三分で溶け、安全な障壁に ひも粘りもありません しも自然の感を確はしませんか

承年の御使用になっても絶對に寄 近代人に適した理想劑です 洗油をなきる必要もない真

花 柳 防 薬



賣理 所店

審五四六二番京壽憲 香八〇一〇 七京東普級

商田和店理代

可成砷磨城京

定規布頒

養

アル東京神田神保町三東京神田神保町三人へ開美本。新聞名記入へ開美本。新聞名記入へ 福好音機

ムラーベ堂生簀

膿 新

現代 に失望せ 4 は來 學

(午後四時半開始)

石井、早速、津島、二氏

對鮮鐵(星)

رگر:

の試合

見地からは汲取便所の窓は金綱蝦一頭山、武山一巻の山間に巻む動物

膨大島と云つた郷太珍しい島も少。渡つて來る島頃を探集すべく去る 島とか、朝鮮貞萬醫島、朝鮮三指 として龍岩浦を嶽靜地とし、春に

十九日新餐州に向つて出産した

聞れたり巻つたり

間の様なかさなもの

十歳配頭に及び、その中には黒雪 ある。毎は原理上に平北に行き主定派した重要に七百歳者、秋百五 整定職してもり、欧難良好の据で派別したものを整定に正成といきのそり、本の、自尊、川京等設しいものを多楽した過遊艦に正成といきのもの

るなければならない、又順生上の は五米、何れも境界線から離れての跳場、七百五十名以上の製資基

潤の樂館場は四米、五百人以上

春来群、威北朱乙に一軒をかりこ意動物の原築及び脱光の宮、昨年

未滅の脚基、七百五十人

既最スエーテン王不博物館動物部一や西水脈附近では鹿島類を多数深

で度は西鮮へ向ふ

物館に各間してゐる、その他、

をまつ遊園越の左中間二層打と

終つた、二国金鯱の古谷がまた左

質様に安打し、その打戦の観さに

照手とり借わ、加ふるに北井投手 影倒されたが、職く盛谷の趣能遊

金鯱と阪急果して熱の試合

訓練院原頭この

物機い打撃の間には宮武の剛禁

に阪急和ビチャンスに思まれず金

本器一定決で打安間遊 思とやはあ、き断を優

八十圓の靴を求め、十圓畝幣だか 五歳位の背坂服器た男が来て一 五〇一ゴム靴商級政伯さん方へ甘

9

一日午後七時頃京城竹亦町三人

釣り鏡サギ

る。誰めかけてイの一番に入場し

遊問安打に續き字野パン(阪急)山下右前安打

萬圓を横領 新義州署取調べ中

> 2時計 三計 三店 ノガネ 時計と

京城本町五十月 京城本町五十月 原本 一〇〇七

| 花柳病専門

※ 京日案內

高級跳獅用

コードに検

しの日の一番賑り

語習言内に誕生したものと同 でと称して竹造町三ノ二八九先ま ら八回八十銭の釣壁を臭れと釣銭

アインスタンドの眞中に頑張つ 「早く始まれく」

設置の外野陣山下、西村、日高 日で金鯱の成つ大飛塔を軽くと の三君は三人とも描つてギッチ から覗いてるやうなもんだより 阪急三人ギッチョ 思から『まるで映画を、森婆 てホームへ返す度様に、



支城京社會券證業勧本日

T ا ا

竹添町に

在至宋代朝显示《宗皇》即即即即即即 元成而《宗皇》与宗史 大成二年,公 元章 《明宗史》 《宋章》

本なり、本店の一点をはまれる。 振替京城二九七·電話本局BO五BD 京城 府南 大門 選二丁目百二十] 日本勧業銀行構內

半島球史を劃する 例の職業野球戦

よつて唸るサイレン、本産主催、金鯱、酸盒高騰和一般は銀錐なシリーズをひもどいたのである 際に、まつ産知れぬ夏力の片鱗を見せて早くもスタンドを埋めた大瓢衆の喉気を浴びた午後四時 のユニホームに自赤線のストタキング、金銭またブラウンの草書な巨體を累地紅鉛のストラキン 何望の三十選手は午後二時半早くも歌場に現れ、今年最初のスパイタを到んだのだ、腹急は集組 に重せてまづ熱心なパッテイングを開始、三宅、端田の南部大も自り選手に混つて激動守備に打 スタンドは除す所なきまでに影響したファン整線の中に假影朝鮮體育體長の始取式に

前く勝敗は決定的となった、官職

〇上面(金號) 黑田內所安打、

京恭金の中から「萬圓を背任横領」を引致極極性に取調べ中である

五百國を非政した事實を新変州署が採知し、月下開署では前記版氏 旅館に投宿中の李泉梯氏から現金

は昭和九年八月国は云面社安東水

監管職員の機能が原件を受

した外、脳近には新銭州府内京城

四番黒田は見事三鹿間を扱いて幸にれてまた。點を献上し、念鱧の「販房を作ったのである 國金 4 西村、竹田、宮武と後常見逃 機人は三駅目を有利三上は第一げた暖場のカーヴを一層越に備打 回に決勝の三點を奪ふ

判(球)期(種)自石、平井三氏分から開始した、金鯱光攻、帯企鰈製取跡試合は午後四時甘む

して実観化された打闘試合とな

試合經過 金總 120 0 000

0 0

300

|| | 行に出で磯人右飛、三上中飛|

丁目の蘇寒酸が例年行つてゐる謎 | つき翅はしい風部があるので内意。京原本町智ではかねてから本町四 | 木大質出しの鑑った景配の聞分に

横領嫌疑で取調

景品處分が怪しい

朝鮮市街地計畫令 ふ施行の後令 道路幅に應じて制限

跨る金銭の内野師から破綻が生じ なった、しかし練習不足と厳の度

を宮町に置らわばならなく

野六郎と地盤されて、どうやら

は適人、三上の好打着を連蹬三振 らはお互に自重し、北井に代つ 脱は混沌たるものとなった四回

るかに見えたが、酸く箇田へ投一器を協議中であつたが、こゝに成

|、朝鮮市街地計議令||震を際たのです||日午後四時道令 は、道路間は最少三米以上を基準 れた、それによればまづ主要な跳 を以て無刑三面記載の通り公布さ してゐる、即ち一般強栗の建物

心動から一、五米の国际を設ける線は道側五米末層のものはその中

果を収容する建物にあつては三百

から珍鳥獣を

五百人未滅の集成場、公留草、 人未満の映高館、消酪場、頤物場 とを必要とされてゐる、更に公

(地院を含む)の百貨店、働工(地院を含む)の百貨店、働工 は何れも道路の暗界線から三

十平方米のものは建築材料は不監事の最上工作物は高さ四米、面積 要としてゐる、題に物干酪、物見器

かの家を生みだすとになってある めに道では各署と連絡をとり何無

で遭らればなられ、その他の駆は

〇、六五米を駆捉とされ、その祝 の高さは地盤面から十五米、口徑 通場は厚さ〇、〇六米の伽瓦かっ

を置けてゐたが、既る端緒を摑み

博物學會講演會

製鮮のアシハラガニに就て

正是馬

金容植君決る

さらそ間状の男子一笑ひの倒罪・無殺の太子・トラモーへ配はくて置み 六百七十頁の大快雜誌『 **聴へがあるので何適ですが、接な大変行ー島切書を輸出中のとこう。** 世版出入。 要を記る言語を言いて、 (特別大・日) 全部讀切。《大傑作!!

管學博士 武田 正房 附長谷三町 顧鮮銀行權 野連輔 武田 産婆 學講習所

古人高質真人御報学上に有法の表別である。 ● 外動行員採用

一、內地 男子年齢二十五條以上
四十歳迄要者者。シー中等與決
以上・學力ヲ有スル虞ニ明ル・
シーチョ酸アル方の自動度者一。
一、市内ニ職資テル原保暇人二名
右ュ化り希望ノ方へ自動腹膜者ニ
関東ヲ郷・助設サレ底サ
関東ヲ郷・助公サレ底サ

批正の 地下に荒

女中保用を開発している。

特别拿风

事 **%** 貝會此商店を墨七下隊計測學校卒樂者二十二處 孫江通り十三加捕星方

全 間 低利に官公規管計算 信用月賦にて長知に側用で致しま す御報髪上仕ります 京城派大町管〇四 + ま ヤ

電本一三六八番

食 堂 原城野側目扱の場所 安雄る早いが勝

が 関係 は 直接本店へ)

校養

内心 合 立時は大物温味も地京城府古市町三五番地 三 澤 商

国 計画 安原手工服はれたし り身腔風継順保あり御布温の方は りずは日散散内 度域日散散内 後 追 ま で

電

配合

思ひ切れないの。思ひ切るなんて 私今はね。其の人がどうしても 臨廟は茂らか希望に輝やいて來

廿二日番組

b時にO分(東) 勝浦 日本に

り中疆(第二放送)

一放送

染まス手拭(三)

しさがこみあげて来た。

に倣ひて(終) 岩下 肚 一間七時一分(東) 顎の修養 基質 節(五) 鬼山間 鬼山間 鬼山間

同七時 〇分 (東) ラデ

正午(東)時報日用品面段·鮮魚 湯のとも方、お棚の吹き方

同二時二五分 米庭の時間(頻節間) 一方・一方・一方 一方 一方 一方 一方 明 明 東京大学師歌編聖 リーケ酸 明 近神宮外苑町球線より中圏 一時二方分 米庭の時間(頻節 午後霧時五分 浪花節

一流争弱血影譜。

城球郷より中職(第二放送に依一スのスタラットフォー四時三〇分 野球試合質記 京一・五大四年四月二十三

田舎に生れた人ですが彼の群いた

午後八時半 寄席中繼

- 石穴四年四月二十三日にイギリ・船の盾品を延駕と着次人の高利彦でありますシェイクスにアは西屬 このに関係して秘廉中の自分の総

◆持時間各九時間 ◆消費時間◆一時間五十分

製記

人長 金 易二郎

お粥の炊き方 重湯のとり方

(131)

七時三〇分(東)勝瀬・孔子と ニエース、天氣見込、職

廿四日き、物

ところあつて男態してパデェア

|公解に代って返帳することになり もベラーリオー郷上が示

、猫と電車

す仔猫に困り果て、帽子の中に人 「農郎ですか、持ちこんだのけ」 騒ぎが大きくなり、概要がやつ 索人芝居

て来で猫の居場所を要す

、た末馴染の整備、凡を呼んで度(毛ずねが晃物人の暴先にニュー

血色素敷、赤血球並に臨床實験によれば エナルモンは動物薬 に体重増加を來し新 動脈硬化、鵩盗血。 眼精疲勞、睡眠不良、インホテンツ 東語腹層、倦怠感、 青・壯年期に於て 初老期・高齢期の

阿能道市极大 店商衛兵是田武 雜 元 寶 發 町水市京東 店商衛吳新西小灣 店理代東關 可名大市條州 所究研樂器腦社團管 計會 元 造 製

歯? 主、彼。 ? へん。のx ! のx 定便十五銭 薬店ニアリ

優や強い 國粹美 福助ばとり

なが歯磨スモ

錠類 .30 .75 1.35 .20 .50 1.00 2.00

した

(田國縣等用) 鹿岛 | 人間影響的 | 人間影響的 | 人間影響的 | 人間影響

九個里、富里浦

仁川汽船帶配

電話 五二脊髓筋炎

北韓西路田 **電西田商會**

786

春の宝は紫にたなびくとも一日は

1

で青年のように登せる

聞ひのやま場

子風の金くらいどうにかなる。そ

エー「ルル」に通つて來た。

國は四一玉迄の局面

36-389(0)

優秀を承認せらる 國際的に効力の 、別の別の比較製品より强力なる事を統 は他の比較製品より强力なる事を統 にある。

ン中央試験所のエエギャル「生化學解報」まし、

頭代謝をたかめエネ

生殖器性神經衰弱、性障害、憂鬱症男性的特徴を發揮し得ざる性衡不全